

まちのうごき	
面積	7.67km ²
(4月1日現在)	(3月中)
世帯数	18,389世帯
人口	53,083人
男	26,067人
女	27,016人
生まれた人	52人
亡くなった人	34人
転入した人	501人
転出した人	723人

向日市

No.597

平成7年(1995年)5月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

五期二十年

輝かしい実績を残して退任

退任のごあいさつ

私は、向日市長として昭和50年4月に初当選以来、5期20年にわたり、向日市政を担当させていただきました。

この間、数々の公約を実現させ、市政の進展をみましたのも、私を支えて頂きました多くの市民の皆さんのご厚情の賜であり、ここに厚くお礼申し上げます。

私は、市長就任以来、一貫して市民本位の姿勢を貫き、個性的で心豊かな魅力あるふるさと向日市を築き上げるため、諸施策の実現に全力で取り組んでまいりました。

お陰げをもちまして、市政の創生期から手掛けてきたまちの基盤が順次整い、都市施設の整備も進み、公約した諸施策も目鼻が付いたという確信をもって、5期20年を契機に、向日市長の職を退任させていただくことになりました。

21世紀を間近に控え、地方自治は、今、新しい地方分権の時代を迎えようとしております。

高齢化社会が進行するなど、厳しい社会情勢ではありますが、多様化する市民ニーズに的確に対応できる行財政能力を身につけ、新しい時代にふさわしいまちづくりを目指すべき重要な時にあります。

どうか、ふるさと向日市が21世紀に向かって一層飛躍し、発展することを願ってやみません。

最後になりましたが、向日市のますますの発展と市民の皆さんのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、お礼のご挨拶といたします。

平成7年4月29日

向日市長 民秋 徳夫



市長職5期20年、向日市の発展に尽くされてきました民秋徳夫市長が、都市施設の整備や福祉・文化の充実に数多くの功績を残され、平成7年4月29日の任期満了日をもって退任されました。
長い間、本当にご苦勞様でした。



20年の足跡

- 昭和60年 向日市災害見舞金設置
- 昭和51年 向日市市民憲章制定、市民の花・木制定、第1回向日市まつり開催
- 昭和53年 自転車置場第一号設置、老人福祉センター開設、ゴミ分別収集開始
- 昭和54年 公共下水道一部地域共用開始
- 昭和55年 第6向日小学校開校、市政モニター制度発足、市のうた・音頭制定
- 昭和56年 上植野・鶏冠井公民館開館、消防庁舎竣工
- 昭和57年 乙訓休日応急診療所開業、府下初の放置自転車条例制定、寺戸中学校開校、寺戸公民館開館
- 昭和58年 市史上巻発刊、森本公民館開館、乙訓若竹苑開所、保健センター開設、上植野上水場給水開始
- 昭和59年 西向日コミュニティセンター開設、世界平和都市宣言、図書館・文化資料館開館、長岡京遷都一〇〇年記念事業実施、向日市・サラトガ市姉妹都市盟約締結
- 昭和60年 文化財保護条例制定、寺戸コミュニティセンター開設、向日市・杭州市友好交流協議書締結
- 昭和61年 市民体育館開館、肺がん検診実施
- 昭和62年 ふるさと産品7品目指定、向日コミュニティセンター開設
- 昭和63年 上植野コミュニティセンター開設、老人デイサービスセンター開設、京都国体「体操競技・自転車競技」開催
- 平成元年 向日市シルバー人材センター開設、東部防災センター竣工
- 平成2年 地下水採取の適正化に関する条例の制定、文化振興基本計画策定
- 平成3年 第4分団・第5分団防災センター竣工、物集女コミュニティセンター開設、女性政策21世紀プラン策定
- 平成4年 北山市営住宅建替「歴史の道」完成、香夜フェスティバルin向日開催(市制施行20周年)
- 平成5年 都市計画街路久世北茶屋線第三工区完成、天文館開館、「高規格救急車」配車、西部防災センター竣工
- 平成6年 老人保健福祉計画策定、在宅介護支援センター開設、福祉会館開館、第2老人デイサービスセンター開設、向日かぐや太鼓創設、第1分団防災センター竣工、総合雨水排除事業着工
- 平成7年 市民温水プール開館、物集女車塚古墳整備、鶏冠井コミュニティセンター開設、公共下水道全市人口普及率99・5%達成、東院の道一部完成「マイロード事業」